

「心を与える」

まずは与えることから始めよう。富のあるものは富を、才のあるものは才を、時間のあるものは時間を。しかしなんとと言っても、人が人に与える最高なものは心である。他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、人とともにどれだけの時間を分けたかによって、真の人間としての証がなされる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

大きな鞠のように咲く紫陽花は、同じ花でも時間の経過による色の移ろいから七変化と呼ばれ、ピンク、水色、紫の色鮮やかさに雨の季節にそっと心を癒してくれます。雨上がり、子どもたちは園庭で育てている花のつぼみやひらひら揺れる花びらを見たり、葉に付いた雨粒を見つけ、興味深げに指を伸ばしたりと草花に関心を持ち、小さな発見をした時の嬉しさや不思議さを感じ、「なあに？」とたくさんの質問をすることで、言葉の世界や知識を広げています。また、晴れた日にはジョウロで水やりの世話をし、綺麗な花を咲かせたり、実がなることを心待ちにしています。植物を育てることで季節を感じたり、生育した喜びを経験したり、時には枯らしてしまったことに悲しむこともあるかもしれませんが。その経験は心の中に思いやりや優しさ、美しいと感じる心、感謝の気持ちなど、豊かな心を育んでくれます。

人との関わりにおいても、それらの心はとても大切です。しかし、心の育ちには見逃してはならない瞬間や時期があります。成長の過程で、「今でしょ！」は必ず訪れます。保育者の役割として、親として、チャンスを活かし大切に育てていきたいですね。子どもの気持ちに寄り添い、温かなまなざしや言葉かけ、溢れる愛情を注いでいきたいと思えます。また大人も、心が満たされることで誰かのために、同じように心を贈ることが出来るようになるのではないのでしょうか。そして互いに心を与え合い費やした時間さえ喜びと感じる人間でありたいものです。

これから梅雨の時期になりますが、体調に十分留意しながら、この時期にしか体験できない遊びや経験が出来るよう工夫していきたいと考えております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 6月聖句 】

息あるものはこぞって 主を賛美せよ。 ハレルヤ。

詩編 150章 6節

【 6月主題 】

「動き出す」

0歳

- ・さんびかや子守り歌を心地よく
- ・優しいことばかけの中、安心して過ごす
- ・周りのものや人に興味をもち、動き出す

1、2歳

- ・保育者のさんびかや祈りのことばに心を合わせようとする
- ・わらべ歌や手遊びを通してことばのリズムを楽しむ
- ・主張やこだわりを認めてもらいながら生活する
- ・保育者や友だちに興味、関心をもって、関わる



6月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
					1 衣替え	2
3	4 虫歯予防デー	5	6	7 ファミリーデー	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 身体測定	18	19	20	21 避難訓練	22	23
24 誕生会	25	26	27	28 クレイシュ通信	29	30
備考	◎虫歯予防デー 歯の大切さ、歯磨きの大切さを活動の中に取り入れていきたいと思っています。					

【 お願いとお知らせ 】

・汗ばむ季節、水遊びなどをするようになります。着替えを持ち帰った翌日は服の補充をお願いします。

0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～



しとしと雨が降る日や夏を思わせるような暑さなど、天気の変り変わりが多い時期となりました。

新しい友だちも加わり、初めはいつもと違う環境に不安で泣いてしまった時もありましたが、慣れてくると、ひもを引っ張ると鈴の音がリンリンとなる玩具で遊んだり、顔を見合わせたりするなど、安心して落ち着いて過ごす姿が見られるようになりました。園庭では、小さなトンネルをくぐるのに、少しためらう様子も見られましたが、呼び掛けによって腕や足に力を入れ前に一生懸命進むようになる姿が見られました。また、保育者の膝の上のぼろろと足を踏ん張ったり、這い這いやずりばいでジャングルジムまで行き、膝立ちするなど、「遊びたい!」「体を動かしたい!」とパワーがみなぎっています。散歩へ行くと、水滴の付いた葉や花びらに手を伸ばし、触れたり、顔を近づけては匂いを嗅ぐしぐさが見られました。「きれいだね」と声を掛けると、にっこりと笑みを浮かべています。

一年を通し、自然の移りゆく姿を見て触れながら子どもの気持ちに共感していきたいと思っています。園での発見や経験を通して、楽しい気持ちで登園できるような空間づくりに努めていきます。



1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

夏のような暑い日が続いたり、ぱらぱらと雨が降り、天候の移り変わりが多いこの時期。室内遊びでは、リミックスを取り入れピアノの音に合わせて歩くスピードを変化させながら体を動かしています。「うさぎのように♪」の所では、両手で可愛い耳をつくりぴょんぴょんと飛び跳ねたり、ジャンプが出来なくても膝を曲げて上下に体を動かしたり、一緒に手を繋いで跳ぶ楽しさを味わっています。また「列車のように♪」の所では保育者と列を作りながらリズムに合わせて「しゅっしゅー」と声に出し元気よく歩いています。リミックスの活動は始めたばかりなのでまだ積極的に参加できず様子を伺っている児もいますが、声を掛けると笑顔で駆け寄ってきてくれるので個々に合わせ少しずつ慣れ親しみ楽しめるよう工夫していきたいと思っています。生活面においては、遊びの中に約束事などを取り入れることで移動する際も友だちの後ろに並び「壁ぺたん」と声を掛けると壁に沿って座れるようになりました。トイレの順番を待ち名前を呼ばれるとズボンやおむつを脱ぐ動作をする姿も見られるようになりました。おまるへ座りタイミングが合えば成功することも多くなりました。自分でやってみようという気持ちを大切にしながら出来た喜びを一緒に分かち合い一人ひとりが成長できるように環境を整え、声掛けを行ってきたいと思います。

2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

真夏のような暑い日もあれば急に曇りにわか雨が降りだしたりと移り変わりの多いこの時季ですが、天候にあわせ室内外共に工夫を凝らし、一日一日が充実できるよう取り組んでいます。

最近の色や形に興味を持ち始め、「赤!」「青!」「丸!」と少し得意そうな表情を浮かべ、描かれたものを見ながら、同じ色や形の記された箱に仲間分けをしています。「四角」はちょっぴり言葉に出すのはまだ難しいようですが、理解は出来ているようです。生活の中でも色や形を見つけると「せんせー」と嬉しそうに教えてくれるようになりました。牛乳パックの積み木も大好きで、並べながら車や線路、動物など様々な物に見立てたり、積み木の家でぬいぐるみとままごと遊びを楽しむ様子も見られます。みんなと一緒に慎重に積み上げていくと背ほどの高さまでなり、喜びと共に歓声があがりました。そのままにしておきたいような、触りたいような気持ちの中、そっと手を伸ばすと音を立て崩れる様子に、また大はしゃぎ。「もう1回!」とみんなで繰り返し組み立てて遊びました。

生活や遊びの中で、色や形、大小の違いを知り、興味を持てるよう、色水遊びやパズル、形遊びなどにさらに活動に取り入れていきたいと考えています。また、季節の変わり目で体調を崩しやすくなるため、水分補給や体調管理にも配慮していきたいと思っています。

